

公表:令和4年3月1日

事業所名 ありすの家 こどもデイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100				
	②	職員の配置数は適切であるか	100				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	86	14		設備が不十分なところはリスクが減るよう対策を考えて実行しています。	施設の環境要因で起きたヤリハット事例も毎日の朝礼で話し合い改善案をすぐに実施しています。また月1回ヒヤリハット分析会議を実施しておりますが、環境要因のヒヤリハットが減るよう来年度も引き続き継続していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	86	14		来年度に向けて業務改善会議に全職員が参加しております。	改善案を来年度実行し、半期で振り返りを実施します。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86	14		事業所評価アンケートの結果を踏まえて会議を実施しております。また来年度に向けて改善案を実施しています。	来年度に向けての改善案が効果的であったか、来年度の評価時に再度振り返り評価していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	86	14		HPブログ内で公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		67	33		事業所の自己評価、保護者評価をもとに業務改善に努めます。関係機関等からのご意見・アドバイスを受け業務改善に努めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100				
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50	33	17		事業所独自のアセスメントシートを使用しております。お子さまの障がいの程度に応じて、標準化されたアセスメントツールの結果を用いることもあります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100				
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100					

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50	50		送迎の関係上、終礼が出来ない為翌日に振り返りを実施しています。また、連絡ノートも活用しています。	朝礼での振り返りを徹底していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	67	33			ガイドラインをもっと活用できるように活動計画時、参照できるようにします。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	83	17		受け入れ時は、就学前の情報提供を依頼して、支援に活かすようにしています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50	33	17	まだ移行された方がいない状況ですが、移行時は情報提供をしていきます。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60	40		研修に参加しています。今年度は事業所に訪問研修をしていただき全職員が参加しています。	今年度も参加します。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	50	33	リモートにて同系列園との交流を図っています。	リモートの頻度を増やしていきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		17	83		研修に参加します。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	17	50	33	プログラムの実施はしていませんが、個々のケースに応じて相談支援を行っています。	ニーズに合わせて、対面でなくても出来る家族支援の実施を計画していきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		67	33	コロナ感染症に伴い保護者会の開催が難しいため、オンラインでの保護者会を検討します。	保護者会に関するアンケートを実施します。その結果をもとに保護者会の開催内容や形態を検討します。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33	33	33	コロナ感染症に伴い施設内への招待が難しいですが、定期的に地域の公民館に伺うようにしています。また広報誌等も配布させて頂いています。	公民館への訪問や広報誌の配布を継続していき、地域の方へ事業所を知って頂ける機会を増やしていきます。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100				
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83	17		児童虐待防止推進月間には啓発キャンペーンに参加しております。	来年度は外部研修への参加と内部研修も実施します。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50	33	17	契約時に保護者様には説明させて頂き同意を頂いております。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			アレルギーをお持ちの方に関しては、主治医の指示書を頂いております。エピペン投与の実践研修を実施しています。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			ヒヤリハット事例は日々職員間で共有しています。ヒヤリハット分析については月1回会議を実施しています。		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。